

やるぞ！二期生

公立一貫校・歴代高付属中の初年度

<7>

25日から3日間の日程で「能登臨海実習」として石川県や富山県を訪れる歴代高校付属中の1年生。現地で実りある体験を積めるように、80人の生徒は担当別に分かれた五つのグループごとに準備を進めている。

県内の市町村立中学 船「海王丸」のほか、校が1年生の宿泊行事として春に県内でキャンプや登山などを行うケースが実習授業では多いが、付属中では風土や歴史が異なる臨海地域について学び、自分たちが暮らす長野県や千曲市の良さを再発見する目的で能登臨海実習を導入した。

シンベエザメがいる「のどしま水族館」、海の貴婦人と呼ばれる帆

のうち、事前学習や写真撮影場所の選定を担当する「学習・写真班」の生徒は、夏休み

が賄っている「YK Kでは主にファスニング事業をしており、その事業活動は世界71カ

かり伝わればうれしい」と話す。

能登臨海実習を事前準備

友達の輪広げる機会



学年集会で自分たちの考えたスローガンを発表する生徒たち

土、見学場所の内容を調べ、新聞にまとめた。調べる。中学生棟の廊下の壁に張り出された新聞には、生徒たちが取り組んだ事前学習の成

国・地域に及んでい とがたくさんあって、この地域の歴史の深さ

量約70%を火力発電

の時期に、より深い人間関係を築いてほしい」と期待している。

(随時掲載します)